

《 小 代 区 》

開催日：令和6年10月9日（水） 場所：小代区総合センター

一般参加者数：37名

■マイナ保険証について■

【質問者】

マイナ保険証について、現在の使用率と12月からのマイナ保険証の状況をお聞かせ願いたい。住民が困らないようになっているか。行政として手間は少ないか。豊岡病院ではマイナ保険証のトラブルで全額支払うようなこともあると聞いているがトラブルはないか。

【健康課長】

マイナ保険証について、香美町では国保と後期高齢者医療分を取り扱っています。12月2日以降は被保険者証の発行ができなくなります。現行の保険証は令和7年7月31日まで使えます。新たな国保加入者や75歳到達者については、マイナ保険証を利用いただくか、所持もしくは保険証登録をされていない方については、資格確認書を発行します。これは現在の保険証と同じサイズとなっています。令和7年8月1日以降については、保険証は発行されませんが、代わりにマイナ保険証が使えない方は資格確認書を発行し、医療がきちんと受けられるように準備しています。

【病院事業管理者】

香住病院でのマイナ保険証の使用率は現在3%となっています。トラブルについては今のところありません。

【健康課長】

町内の診療所のマイナ保険証使用状況は2%と聞いています。後期高齢者医療のマイナ保険証の登録率は5割程度、国保については6割くらいと把握しています。チラシ等でPRはしていて、後期高齢の方にはすでに配布しています。行政の手間については、事務マニュアルを作ってスムーズに事務を行うようにしています。

■鍛冶屋向平線の道路改良について■

【質問者】

鍛冶屋向平線の道路改良に着手していただくことになった。工事はこれからだが、事業完成に向けて進んでいる。建設課長をはじめ職員の皆さんにはお礼を伝えたい。用地交渉等はこれからだが、地元も協力する。佐坊は小代一の豪雪地帯で、地区や個人で除雪機をもっていて除雪しているが日々の除雪もしんどくなってきた。完成後は冬季の除雪もしてくれるということでありがたい。

【町長】

事故なく工事の完成ができるよう努力します。

■ふるさと納税について①■

【質問者】

ふるさと納税について、年々増えていて今年は13億。3割か4割は経費で出ていっても残りは町で使える。また7項目の使い道があると思うが今年の使い道はどうか。これをどう振り分けられるのかお聞きしたい。

【町長】

ふるさと納税について今年は6億で、5割は使えます。返礼品や人件費等は一般会計から支払い、いただいた分は基金に積んで、そこから使っています。県全体の納税額は12兆で、香美町は町では県下一です。香美町の町税は16億で、プラスで6億使えます。ただ、ふるさと納税は不安定な財源。それでも給食費の無償化などに使えます。

【観光商工課長】

令和5年度のふるさと納税の7項目に使用した割合は、まず一番多かったのが子育て環境を整え香美町ならではの教育環境の整備を行うが44.8%。大方半分の方がこちらを指定されています。次が松葉ガニ、香住ガニ、但馬牛などの多彩な地域資源を生かし人と経済の循環を生み出すが25.6%ということで、これで全体の7割ぐらいになります。あと残り1割ずつぐらいが、乳幼児から高齢者、障害者など誰もが安心して健やかに暮らし続けるための事業とふるさとの環境を守り、風土を生かした産業の推進を図る事業、あとは災害に強く安心安全な町づくりの推進を図る事業で3割に近いような数字になります。あと残り二つの交流の促進と移住定住促進を図る事業と生涯学習の機会の充実やスポーツ文化芸術活動の推進を図る事業で2%程度ということになっています。

■ふるさと納税について②■

【質問者】

NHKの大相撲の懸賞の垂れ幕で最後の取り組みのところで出している。香美町が二場所したぐらいだが、そのPR効果がどの程度出ているか聞きたい。

【町長】

PRの効果についてなかなか調査できませんが、今場所は結びの一番に出しており、1本しか出していないので最後のほうになってあまり映りませんでした。前回のときは結構出まして九州からの寄附が増え、実績も数字として表れましたが、この度は国技館で映る回数があまりありませんでした。費用もかかるので来年できるかは不明です。京セラドームのバックスクリーン左側の観客席の出入口の上にも出しています。ホームランの際に映りますので、京セラドームもまた注目して見てもらえたらと思います。

■中学校部活の地域移行について■

【質問者】

先月末に小代中学校の休日の部活の地域移行のアンケートをいただいた。小学校5、6年生と中学校1年生の保護者が対象で、子どもたちは学校でアンケートしてきたと言っていた。小代中学校は男子バスケット部が廃部になって陸上部だけになり、女子はバレー部のみ。子どもたちの選択肢がない中で休日の部活移行に動いてくれているのはありがたい。令和7年か8年には実施できるようにとあるが、年度途中でもできるのか、アンケートが先週末で締め切りだったが、知らない保護者もいたので、どの程度周知したのか。どのくらい返っているのか教えていただければと思う。

【教育長】

途中からという質問に答えると途中からはありません。大都市圏のようなことが当たり前のようにいいイメージを持たれているとは思いますが、非常に難しいです。昨年からずっと会議をしており、小代からでている複数の部活ということに関してはなんとか7年度中に数を増やす方向で、ある程度の結論は出ています。ただ都市のように10も20も部活動の人材を確保できるかという非常に難しいです。小代でいうと男子1つ女子1つだった部分が、おそらく場所を変える必要はあるが、選択肢がある状態は令和8年度から作っていかねばならないと検討しています。国はできるだけ8年度からスタートと言ってきています。それに向けて言えばあくまで緩やかなという言葉をつかっており、8年度からスタートは切るけど100%Goで行く意味ではありません。8年度に何らかの形を作っていきますが、子どもの数も減るので様子を見ながら進めていきたいと思っています。都会の方は大学生を使うと言っていますがこちらは非常に苦しいです。スポーツクラブ21や体育協会にも声はかけていますがなかなか難しさがあるのが正直なところです。ただ香美町はしませんということは思っていないので、しばらく待っていただきたいと思っています。

【こども教育課長】

先ほど集約結果の話が出ましたが、まだ集約できていないためどういう結果がでていかかも発表できる段階ではありません。今年度はまた協議会をもちまして、アンケート結果をもとに今後どうしていくか検討いたしますが、いろいろ課題があるのでもう少し時間がかかると思います。皆さんの希望に添えるような方向にできるだけ持っていきたいということで協議を進めていますので、必要に応じて結果をお知らせすることは検討していきますので、ご協力いただくこともあると思いますがよろしくお願いします。

■女性活躍について■

【質問者】

女性活躍といいますが、香美町行政にまだ女性幹部がまだまだ少ない。今お二人おられるが18人くらいの中で2人ですから1割くらいか、それでも少ない。町長や企画人事にお聞きしたいが女性幹部のどういう構成を狙っているのか、定期採用とか。子育てしても簡単にできるような体制を整えるところまで真面目に考えていかないといけない。その辺りの将来構想をお聞きしたい。

【町長】

私も女性活躍の場を設けたいと考えています。例えば議場の当局側の左右に二人ずつく

らい女性の幹部ができれば。ただ女性ありきの人事はいたしません。なぜ女性が少ないか、以前から比べたら共働きも増えましたが、女性の職員は出産子育てで一定期間職場離脱をされます。そのことにより業務内容の習熟ぶりだとかが関係しているのではと思います。でもそれを能力でカバーできるような方はしっかり登用して女性活躍の場を考える必要があります。それは副町長や教育長のような職責もそうです。半分は女性だから今後はそういう女性活躍が自然な流れでできる時代が来ると思っています。決して女性を出世させないようにしている訳ではありません。

■コミュニティスクール（学校運営協議会）について■

【質問者】

コミュニティスクール（学校運営協議会）が本年度からスタートしたということで非常に関心をもち取り組みについて大変楽しみにしている。この趣旨は地域の声を生かして特色ある学校を作っていく、具体的には学校が抱える課題や教育目標等を話し合いによって解決するものと解釈をしている。ただ、コミュニティスクールのチラシを見たときに挨拶運動のような内容だった。何か非常に期待外れ。まだ発足したところだからこれからだろうとは思いますが、小代区だけでなくほかの校区の取り組み状況、進捗状況を把握されているなら教えていただきたい。

【教育長】

今年からコミュニティスクールに関して全小中学校でスタートを切りました。特に小代は小中合同で先行実施をしています。この最終目標は各学校長たちの学校運営の相談役になっていただくのが一番の目的です。ただ、学校は以前からの学校の文化をもっているもので内容など一般の方にお話しできるかは非常に難しいです。このコミュニティスクールは今始まったことではなく、十数年前から学校運営協議会がありました。それで学校運営を牽引してきた向きはありましたが、児童生徒の数も減り、いろんな課題が出ており、学校だけでは解決できない課題が出てきました。それを地域、保護者も含めて見直そうというのが協議会です。令和6年度はこのことを一緒に考えていきましょうという動きをしており、町全体でもコミュニティスクールの検討委員会を持っています。今課題を吸い上げて来年度に向けての動き、町がイニシアチブをとりながら進めていきます。ただ一方的にこれをしなさいではなく、校長とコミュニティスクール委員、学校職員みんなが協議していくべきだと思っています。ここ3、4年で内容が進んだのはその趣旨が全国に伝わったので今進んできたと思っています。学校が相談した内容には議論していただいて、最終的には子どもたちのためになるようそれぞれの地域で考えていただけたらと思います。

■地すべり地帯等について■

【質問者】

これは要望となるが、小代区の中で地すべり地帯が秋岡地区、貫田地区、大谷地区にあり、地すべりの県の工事は終わっているが、途中水が出てくるところがあるということはやっぱりずれてきていると考えられる。県として全体的に水が止まればその他のことは個人の財産なんてできないといわれても当然だとは思いますが、今一度調査というか要望を県に繋いでいただければありがたい。もう一つですが道路関係でいうと大乘寺バイパスⅡ期が完成

することによって香住病院への利便性が良くなる。村岡の個人医院ですが、入院部分がなくなっているところもある。道路行政として副知事に要望にも行ったがなかなか簡単ではない。でも大谷バイパスも順次お願いしたい。教えてほしいことが一つ、昨年からだったと思うが、こぶし園に外国の方が研修生として来られている。国籍はわからないが、頑張っていると思う。何かわかっていることがあれば福祉課長のほうからでもお願いしたい。

【町長】

まず一番気になるのが地すべりの関係です。直接の町の事業ではないと言いながら県にも意見調整をして、例えば私が建設課長と一緒に要望に出向くこともあります。地域の方も役場を訪ねていただいて要望書なりを作っていただいて、町と協力しながら地元の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。大乘寺バイパスのことにつきましては、服部副知事のときに要望に行きました。前の土木部長にも何度となく要望に行かせていただいたがそう簡単ではありません。現状で欄外です。実現に向けては難しいかなという思いがありますが、それでも検討して地元の方々と一緒に要望活動を続けていきたいと考えています。こぶし園の外国人の働き手のことについて、一昨日ちょうど外国人労働者を斡旋する協同組合の方3名が役場に来られた際、褒めていただいたのは全国でも自治体で外国人労働者の斡旋に対する支援とか香美町が真っ先なのではないかということでした。今の状況についてこぶし園関係は16名だったと思いますが機嫌よく勤めていただいていると思います。また香住の船は2名ほどインドネシアの研修生が来ています。介護人材や水産加工の事業所にもたくさん来ておられます。

【福祉課長】

今の介護人材の外国人の関係ですが、令和4年度こぶし園が人材不足で困っていて、事業縮小する状況であったため、理事長と話をする中で外国人労働者に頼ってみようという結論になり、昨年度16名の方がこぶし園系列事業所に介護人材として入り、その影響で縮小していた事業も復活をいたしました。その影響で短期長期入所の回転率も戻って介護事業所としての通常の状態に戻ったと思っていますし、今年度加えまして来月新たに3名の方が入ってくることを確認しています。また雰囲気として非常に明るい職員ということで、こぶし園の雰囲気が明るくなったとも聞いています。皆さんも見かけることがあれば声をかけていただきたいと思います。